

〔課題演習抄録〕

社会性と情動の学習 (SEL) を関連付けた
中学校における英語科学習指導の効果の検討

阪 井 彰 一

Shoichi SAKAI

福岡教育大学大学院教育学研究科教職実践専攻教育実践力開発コース

キーワード：社会性と情動の学習 (SEL)，社会的能力，SEL-8S プログラム，関連付け，学習意欲

1 研究の目的

「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」が、平成 29 年告知の学習指導要領で取り上げられるようになった。そこでこれからの学校教育は、多様な他者と協働しながら新しい価値を発見していく力を生徒達に身に付けることが求められている。そしてコミュニケーション活動を中心に据える英語教育においては、個性や考え方が異なる他者と良好な関係を築くことで多文化共生社会を生きていく人間を育てるという観点から、他者との協同的な学習は必要不可欠である（江利川，2012）。しかしその一方で、近年学校生活の中では、他者と関わる際に、自分の言いたいことがなかなか言えずに我慢する生徒など、人間関係に対して課題を抱えている生徒の数も増えている。さらに他者との対人関係の不安から学習意欲が低下したり、学校不適応を起こしたりする問題も見られるようになっている（香川・小泉，2015）。生徒が望ましい人間関係をつくることのできるように援助することが急務となっている。

小泉・山田（2011）は、予防・開発的な生徒指導の視点から、社会性と情動の学習（Social and Emotional Learning，以下 SEL）の必要性を述べており、SEL とは、「自己の捉え方と他者との関わり方を基礎とした、社会性（対人関係）に関するスキル、態度、価値観を身に付ける学習」と定義し、SEL の特定のプログラムとして SEL-8S プログラムを提案している。これは、児童生徒の社会的能力の育成を目的とした心理教育である。

本研究では、予防・開発的な生徒指導として行った SEL-8S プログラムで学習した社会的能力を英語の授業に関連付け、その効果を検討することを目的とする。

2 研究の計画

研究計画は表 1 に示したとおりである。

表 1 研究計画

時期	内容
4 月	・英語学習に関するアンケート作成 ・中学生用 SEL-8S 自己評定尺度、英語学習に関するアンケート実施
5 月	・SEL『上手な教え方』
6 月	・SEL『「聞く」と「聴く」』
7 月	・SEL『状況に応じたあいさつ』 ・中学生用 SEL-8S 自己評定尺度、英語学習に関するアンケート実施
9 月	・英語学習に関するアンケートの構成概念の分析
10 月	・SEL『いろんな意見』 ・SEL を関連付けた英語の授業実践
11 月	・SEL を関連付けた英語の授業実践
12 月	・SEL を関連付けた英語の授業実践 ・中学生用 SEL-8S 自己評定尺度、英語学習に関するアンケート実施

3 研究の内容

(1)方法

2018 年 4 月～2018 年 12 月

(2)対象

M 市立 A 中学校の第 3 学年 4 学級の生徒 132 名が参加し、欠損値のあるデータは除外した 120 名を分析対象とした。

(3)手続き

SEL を関連付けた授業を実施するために、5 月～10 月の間に第 3 学年のすべての学級で 4 回の SEL の実践をした。実施に際しては、筆者が実習校の配属学級で SEL の実践を行い、その他の 3 学級は同じ時間にそれぞれの学級担任に SEL の授業を実践してもらった。SEL の内容は、小泉・山田（2011）が考案した SEL-8S プログラムの中

から筆者が学校行事の事前学習として適切だと判断したものを選んだ。SEL を実践している期間にも、同時並行で英語の授業実践は行ってはいたが、SEL との関連付けは行ってはいない。SEL を関連付けた英語の授業実践は、4 回目の SEL の実践後から行った (図 1)。本研究において SEL を授業に関連付けるとは、SEL-8S プログラムで学習した社会的能力を英語の学習活動に関連付けることである。つまり、様々な学習の前に、「話し合いの方法」や「自分の意見の言い方」などを再認識させてからペアやグループ活動を行った。

	学校行事	SEL-8S プログラム	英語科学習指導
4 月			英語科学習指導
5 月	体育祭 ←	上手な教え方	英語科学習指導
6 月	トークフォークダンス ←	「聞く」と「聴く」	英語科学習指導
7 月	高校体験入学 ←	状況に応じたあいさつ	英語科学習指導
8 月			SEL の関連づけのない授業
9 月			
10 月	研究発表会 ←	いろんな意見	英語科学習指導
11 月			英語科学習指導
12 月			英語科学習指導 SEL を関連づけた授業

図 1 SEL と学校行事・英語の授業との関連付け

(4)効果測定

次の 2 つのアンケートを、全対象生徒に対して 1 回目を 4 月 (事前) に、2 回目を 7 月 (SEL を授業に関連付ける前) に、3 回目を 12 月 (SEL を授業に関連付けた後) に、合計 3 回実施した。

①中学生用 SEL-8S 自己評定尺度

小泉・山田 (2011) の 26 項目からなる 8 つの社会的能力 (自己への気づき、他者への気づき、自己のコントロール、対人関係、責任ある意思決定、生活上の問題防止のスキル、人生の重要事態に対処する能力、積極的・貢献的な奉仕活動) を生徒が 4 件法で自己評定を行った。

②英語学習に関するアンケート

本尺度は、2 つの先行研究 (Carreira, 2006 ; Koizumi & Matsuo, 1993) に見られたそれぞれの特徴から 24 項目を抽出し、筆者が作成したものである。生徒が 4 件法で自己評価を行い、それをもとに因子分析 (最尤法、プロマックス回転) を行った。その結果、因子負荷量が .40 に満たない項目を除外し、16 項目に限定した。また、因子の解釈のしやすさから、4 因子構造が妥当であると判断し、第 1 因子を「外国への興味関心」、第 2 因子を「英語学習への興味関心」、第 3 因子を「家庭の支援」、第 4 因子を「外向性」と命名した。

4 成果と課題

(1)成果

本研究の目的は、SEL-8S プログラムで学習した社会的能力を英語の学習活動に関連付けることの効果を検討することである。そこで、SEL を英語の授業に関連付けることで、英語学習への興味関心が高まる可能性が示唆された (図 2)。

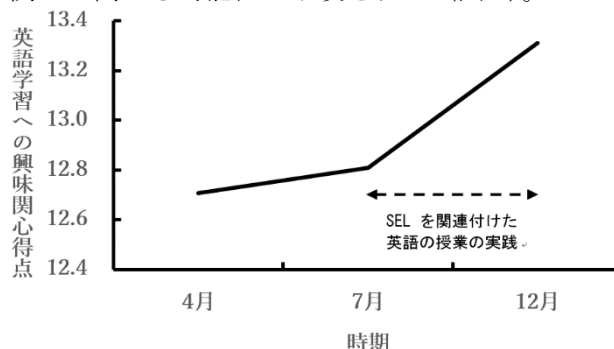


図 2 英語学習への興味関心の推移

さらに、SEL を関連付けて授業を実施していくことで、生徒の社会的能力も高まる可能性があることが示唆された (図 3)。

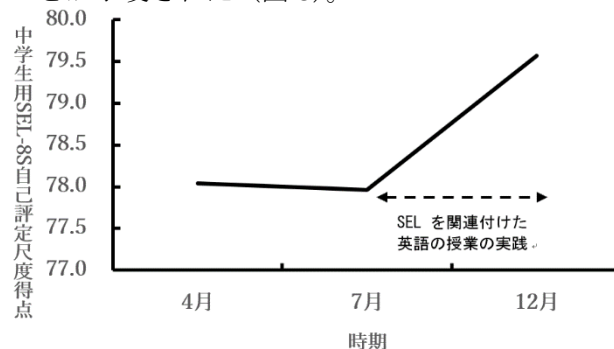


図 3 社会的能力の推移

(2)課題

英語学習への興味関心の得点は実践後に上がってはいるが、それは英語学習の場面で具体的にどのような姿として現れているのかを評価するのが今後の実践の課題である。そして、SEL と関連付けなかった場合との比較検討も課題と言える。

主な引用・参考文献

- Carreira, M. J. 2006. Motivation for learning English as a foreign language in Japanese elementary schools. *Japan Association for Language Teaching*, **28**, 135-157.
- Koizumi R. & Matsuo K. 1993. A longitudinal study of attitudes and motivation in learning English among Japanese seventh-grade students. *Japanese Psychological Research*, **35**, 1-11.
- 小泉 令三・山田洋平 2011 社会性と情動の学習 (SEL-8S) の進め方ー中学校編ー ミネルヴァ書房。